

第9回 AOSD 国際会議の開催

2016年12月19日 ドラム缶工業会

アジア・オセアニアの鋼製ドラム製造業者で作る AOSD (Asia Oceania Steel Drum Association アジア・オセアニア鋼製ドラム製造業者協会、会長：小野定男ドラム缶工業会理事長・JFE コンテナ(株)社長)は、第9回国際会議を11月29日・30日、インドムンバイ市の JW マリオットホテルで開催しました。

AOSD 国際会議は3年に1回の頻度で開催され、技術的なテーマに関する発表・討議が行われました。また関連した設備や資材品の展示ブースも設置され、ドラム缶製造業者だけでなく、各国のドラム缶製造機器メーカーや資材品メーカーも参集しました。

2日間に渡り開催された今回の会議には、17の国・地域から210名あまりの参加者があり、当工業会からは約60名が参加しました。

会議では“Reengineering Steel Drums Manufacturing”を統一テーマとして7カ国から22の発表があり、『品質管理』『ライン自動化』『環境対策』『ドラム製造設備の発展』『口金の技術開発』『素材技術』『統計』の7つのセッションに分かれて進められ、それぞれの発表に対し活発な質疑が行なわれました。当工業会からは、各社の操業経験に基づいた4つのドラム缶および1つのペール缶の技術論文の発表を行いました。

なお、次回(2019年)の開催地は中国に決定しました。

以上

[写真解説]

- ・小野理事長による開会挨拶時の写真です。
- ・工業会会員会社からの次の5つの技術発表があり、各々の発表中の写真です。

1. 「耐デント性能に優れた薄物ドラム」
(JFE コンテナ(株) 永井氏)
 2. 「ドラム缶拭き装置の開発・実用化」
(日鉄住金ドラム(株) 畑田氏)
 3. 「印字乾燥装置(IH方式)の開発と実用化」
(山本工作所 山口氏)
 4. 「VOC 排出抑制対策としての
塗装乾燥炉の脱臭装置導入事例」
(東邦シートフレーム(株) 三品氏)
 5. 「日本におけるスチールペールの
自動検査機器について」
(新邦工業(株) 末井氏)
- ・閉会式の模様の写真です。



開会の挨拶を行う小野理事長



発表を行う永井氏



発表を行う畑田氏



発表を行う山口氏



発表を行う三品氏



発表を行う末井氏



閉会式で壇上に整列した各国のドラム缶工業会代表
(左から、インドのセス氏、中国の張氏、
米国のスタビック氏、小野氏、欧州のリナルディーニ氏)